



三つの目標と校長講話の取組

第19代 校長 大城 朗

平成 25 年度、私は退職まで後 3 年というときに東風平中へ転勤した。「よし、ホップ・ステップ・ジャンプで卒業だ！私の集大成を東風平中で！」そういう思いで赴任した。

校長になってずっと続けていることが 3 つあった。1 つ目は「知・徳・体の 3 つの目標の取組」だった。この取組は、前任の永山清勝校長がすでに取り組んでくださっていた。学年目標や学級目標、それに生徒の個人目標も知・徳・体の 3 本設定し、生徒達に意識して実践させるのだ。前任校ではこの取組を 4 年間続けかなりの成果があり、県内各地区に広がり始めていた。

2 つ目は、校長講話を毎月 1 回意図的に実践することだった。すでに 5 年間実践していて、学校ぐるみで取り組むことによって大きな成果を得られることが検証されていた。第 1 回目の校長講話のタイトルは、「校歌の心～彩雲・生命・光望～」とした。期待通りに全生徒が食い入るように見てくれた。

まず生徒達が写っている写真をたくさん見せ、その後短い話をするのだ。特に「生き方指導」と並んで「ふるさと教育」を意識的に指導した。

3 つ目は週 1 回発行の職員用通信や月 2 回発行の学校便りをきちんと定期発行することだった。この 3 点は、東風平中でもきちんと続けた。

平成 24 年度（永山清勝校長の時代）に、東風平中は歴史的な快挙を成し遂げていた。中体連史上初めて地区陸上（男子、女子、男女総合）、地区駅伝（男子、女子）で完全優勝（5 冠）を達成したのだ。私は島尻中体連の理事会で、「この快挙を特別表彰すべき」と発言した。それが認められ最後の中体連の納会の時に永山校長が表彰を受けた。まさか自分が東風平中に決まるとは思っていなかったもので、少し面はゆい気持ちだった。残念ながら私の時代は地区陸上総合 2 位だったが、地区駅伝では女子が 4 連覇を達成した。

学校が段々活気づいてきて次年度も頑張ろうと思っていたとき、まさかの人事異動で県教育庁義務教育課長に転出することになった。「最後まで東風平中で！」と思っていただけに、後ろ髪を引かれる思いで大変残念だった。

平成 29 年 12 月に「東風平中創立 70 周年記念講話」を全校生徒の前でさせていただいた。東風平中の創立の頃からの校舎の変遷等の写真を見せて過去を振り返り、後 22 年後の未来の自分を考えさせた。「これから先の 10 年間の過ごし方が皆さんの人生を決める。過去は変えられないが未来は変えられる。」とエールを送った。1 年間しか勤務してなくて少し寂しい気持ちもあったので、兼屋辰郎校長の配慮に感謝したい。

私は字東風平に住んでいるので、いつも広報誌や新聞で活躍ぶりを見て、応援している。校門前の生徒の活躍状況等の横幕もよく見ている。

最後に今後 80、100 周年と、東風平中学校のますますの発展を祈念したい。